

肉質をもち、火の通りがとても早いので忙しい時の調理にも便利である。一番のおすすめはベイクドポテト。ふかしてそのままジャガバターも最適。「レッド」はなめらかな舌触りであり、「パープル」はほんのり自然な甘さをもつという違いがある。

「ジャガキッズ」という名前は、このいもが大地の子供達（KIDS）のようだといいところからきている。広大な馬鈴薯の畑を掘り起こすと、黒い土のなかから鮮やかな色のジャガキッズが顔をのぞかせる様子は、まるで大地から生まれた子供達のようにである。

6. おわりに

プロトプラスト培養による品種育成については、最近イネでも報告されているほか、組織片からのソマクローンを利用した品種作出はトマトなどの例があるが、今回育成したほ

くほくふっくらのおいしい「ジャガキッズパープル」「ジャガキッズレッド」（図3）は、親品種の粉質性・良食味を受け継ぐとともに皮色のカラフル化・粒揃いの良化・目浅化などの形質が改良されており、馬鈴薯のプロトプラスト培養系を利用し、親品種の長所を残し、欠点を改良することが可能であることがわかった。「ジャガキッズ」は1990年の10月より市販が開始されており、プロトクローン育種手法の有効性が、商品化というレベルで実証された初めての例である。

文 献

- 1) 岡村正愛：植物工学、魚住武司・児玉徹 編、pp57-87 (1993), MARUZEN ADVANCED TECHNOLOGY
- 2) 大西昇、間宮幹士、藤山俊計、鏡勇吉：育種学雑誌、第40巻、別冊1、88-89 (1990)
- 3) 岡村正愛：バイオインダストリー、9、517-524 (1992)、シーエムシー

相続税を土地で納める「物納」は、このところ急増現象ですが、問題は物納申請から許可までかなり時間がかかることです。

このところの地価の乱高下で、相続税の物納が増えていま

急増している相続税の物納
＝物納許可まで1年＝

す。相続は年間で100万件を超え、そのうち相続税がかかるケースは5万～6万件で、この相続人の数は15万～16万人ぐらいになります。そしてこの相続人のうち物納を選択するケースは約1万件です。

ところが、この物納処理には時間がかかるうえ、国税局の人員事情もあって、なかなか処理事務がすすまないのです。というのは、物納ですから、国に土地が移ることになり、まず隣地との境界をはっきりしなければなりません。まず実測をし、さらに

道路との境界も確認しなければなりません。

この作業はその土地の向う三軒両隣りとの接渉が必要なうえ、多数の利害関係者との確認も必要となることから、ふつうでも半年や1年はかかってしまうのです。つまり、物納申請をしても1年はかかると考えなければなりません。

さてここで、物納に関するニュースをもう一つ。相続税の分割払い(延納)の申請をした人でも、物納に切りかえることができる特例物納が1989年から1991年分の相続にかぎって認められました。現金による相続税納付が困難な人は、いちど税務署に向いてよく相談されたらと思います。この特例物納は、すでに7000件を超えているのです。(平成6年11月8日・朝日新聞から引用・編集部)